



武蔵野市議会議員

# 山本ひとみ

活動報告

分かち合う経済・支え合う社会をつくる会ニュース 9号 2018年9月発行

【事務所】〒180-0023 武蔵野市境南町 2-23-6-203

TEL 0422-30-5364 FAX 30-5374 携帯 090-1212-8411

e-mail yhitomi815@gmail.com

blog http://yhitomi815.blog.fc2.com/

twitter @hitomi\_yamamot

## 災害対策の総点検を

7月11日、武蔵野市の来年度予算編成に関して、市長・副市長をはじめとする幹部職員との意見交換を行い、要望書を提出しました。以下、要望書の抜粋です。なお、各項目の#以下の文は、口頭で行った説明です。

### ◆災害対策の総点検

・西日本の豪雨災害・大阪での地震などを踏まえ、下記の点を中心に総点検し必要な改善を速やかに実施する。

- ①都市型水害対策・ハザードマップ
- ②ブロック塀の安全確認
- ③高層マンションの防災・避難対策
- ④降雪・積雪対策

# 武蔵野市では、ブロック塀の点検作業は、大阪での地震直後に行っています。高層マンション・大規模マンションなどでは、エレベーターが使用できないときの課題のほか、オートロックや各種認証システム等も救助にとって障害になる事例も市民より伺っています。

### ◆ゴミ分別方法の見直し

(詳細は中面右ページをお読みください)

### ◆民泊・簡易宿所開設に関する規制の実施

・開設にあたっての近隣説明・都との連携のルール化

# 7月半ばで、市内10件の民泊の届け出があり、緑町の簡易宿所も開設が許可されました。簡易宿所の開設許可権限は都の管轄する保健所にあり、市にはありませんが、協定を結ぶなど必要な連携を明文化していただくよう求めました。

### ◆保育園待機児ゼロと保育の質の確保・保育園間の格差是正をめざす取り組み

・新規開設園の保育内容が保育のガイドラインに沿ったものであるかを確認し、改善を図るため、以下を提案する。

- ①巡回指導にあたる職員の増員
- ②市役所内部に、保育士や保護者からの意見を受け止める

機関を設置する（専用のメールアドレスや手紙も含めて）

・認証保育所と認可保育園の保育料格差の是正

### ◆障害者の人権を守り、住まいの安定を

・入所施設建設に向けた取り組みが進んでいることを評価する。地域に開かれた施設・利用者のニーズにこたえ人権に配慮した施設に。

・青年期の障害者の平日の作業所通所後（イブニングサービス）や休日等の居場所づくりを進める。

# 現在イブニングサービスは試行実施されていますが、ぜひ本格実施をしていただきたいと要望しました。

### ◆原発事故による放射能汚染に対する対策の継続

### ◆不登校の子どもへの対応の強化

・学校や公的機関を居場所にできない・選ばない子どもに対しても、フリースクールなどにかかる費用を助成する仕組みを

## ボランティアとカンパを募っています！

◆ 岡山県倉敷市生まれ。◆ 京都大学文学部卒業。◆ 会社員として働きながら市民運動に参加。◆ パート労働講座を呼びかけ、不安定雇用の改善に尽力。◆ 1995年より武蔵野市議会議員3期。◆ 2007年選挙で惜敗。政治活動を続けるとともに、知的障がい児の外出介助のガイドヘルパーとしても働く。◆ 2011年・2015年市議会選挙で当選。現在5期目。◆ 2015年度議会運営委員会副委員長・2017年度建設委員会委員長を務める。◆ 厚生委員会所属。都市計画審議会委員。

### 豪雨被害の倉敷市真備町のボランティアに参加しました

私の故郷は岡山県倉敷市児島です。同じ市内の真備町では、7月の西日本豪雨で甚大な被害を出しました。8月9日に、ボランティアに参加しました。

●朝9時過ぎに倉敷市災害ボランティアセンター着くと、すでに体育館は大勢のボランティアでいっぱい。

5人単位の班編成のあと、現場へ。作業は、側溝にたまつた泥をかき出し土のう袋にいれること、お店のなかや周りの泥やゴミをきれいにすることでした。2階建てのお宅の2階まで土で汚れていたり、窓ガラスがなかつたり、浸水の大きさを肌で感じました。壊れたままのお店・高く積み上げられた災害ゴミもあちこちに残っていました。

同じ班の方は、保育士さん・歯医者さん・研究者の方など、仕事も住んでいる所もさまざまでした。多くの市民がボランティアに参加することで、広域的に被災地の現状や課題を共有する機会となっていることを実感しました。

●もちろん、ボランティアだけではできないこともあります。真備町だけをとってみても、堤防や川の流れが同じ状態なら、今後の豪雨でさらに被害が出ることも想定されます。政府は、被災した住民やボランティアの方がた・現場の自治体と意見を交わし、きちんとした検証を行って、災害対策の見直しについていただきたいと思います。



ボランティアには、高校生・大学生くらいの若者が多く、とても心強い。

## 武蔵野市役所でのセクハラ相談窓口は 第三者機関に変更を!

財務省前事務次官や、前狛江市長など、行政や政治の分野で責任ある地位にいる男性によるセクハラが大きな社会問題になっています。私は、セクハラは社会の中での上下関係を反映し、強い立場にいる側が弱い立場にいる者に対して行う人権侵害行為であると考えています。そして、セクハラ被害防止と被害者救済を目的とした法整備が必要です。

●武蔵野市役所におけるセクハラ相談体制や現状等を伺ったところ、市役所内に 11 名の相談窓口担当者が指名されており、セクハラ防止に関する基本方針が 2015 年に制定されて以降、相談件数は 2015 年度 1 件・2016 年度 1 件・2017 年度 0 件・2018 年度は現在までに 1 件であり、内容は上司のセクハラと思われる言動についての相談などであることがわかりました。

私は、市役所内部の相談体制ではなく、第三者機関とすることを求めました。

●子どもを三人以上産むことを奨励したり、「ゼロ歳児はママが好き」などの発言が何度も政治家から続いていますが、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ\*(注) のさらなる啓発に関して、見解を伺いました。市長は「リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念では、子どもを産むか産まないか、いつ産むか、何人産むかを決める自由・権利は一人ひとりにあることが提唱されているが、政治家の発言や言葉の認知度の低さをかんがみると、一層の周知啓発が必要であると考えている」と答弁し、心強く感じました。

\*(注) : Reproductive Health and Rights: 性と生殖に関する健康と権利

## 保育の質の向上にむけ市の取り組みの充実を

今年 4 月段階での保育園待機児童数は 53 人と、昨年より大幅に減少しました。保育園増設に力を入れてきた市の取り組みを評価し、早期の待機児童ゼロ実現を期待しています。

一方、新しくできた保育園の中には、園庭が狭かったり、無いところも多く、また、多数の保育士が一斉に退職して保育の質が懸念される事態になった事例が、最近何件かありました。今後は保育の質の向上を大きな目標としていただきたいと思います。

●民間保育園における定員割れの状況、それに対する方針について質問しました。一部の保育園で、利用調整後急な引越し等で空きが発生しており、また、家庭的保育事業者（保育ママ）では、空きが他の施設よりも多めに発生したため、1 日保育体験会を実施するなど PR を行い、入所希望者の確保に努めていることがわかりました。

●保育のガイドラインに基づく保育が実施されているかどうかの検証体制については、子ども育成課の保育アドバイザーが定期的に巡回し、保育内容を確認し、課題がある施設に対しては事前予告なしにアドバイザーや課長が施設に行って状況を確認しているとの答弁でした。保育園も大幅に増えたことか

ら、私は、巡回指導に当たる職員の定員増を、予算要望をお願いしました。



武蔵野プレイス前の公園は、保育園の子どもたちにとっても大切な外遊びの場所です。

## 飼い主の入院等による野良猫を減らすため 福祉分野との連携を!

武蔵野市でもかけがえのない家族としてペットとの暮らしを楽しむ世帯が増えていますが、高齢化や単身世帯の増加に伴い、新しい課題も指摘されています。人と動物が共生できるまち、ペットを飼っている世帯と飼っていない世帯とのよりよい関係づくりのために、質問しました。

●市内でのペットの飼育頭数は、犬が 4888 頭・猫は約 5200 頭（推定）であることがわかりました。

不妊去勢手術の勧め・飼えなくなった場合の対応の仕方など、猫の飼い方に関するセミナー実施を要望したところ「どういった形で実現できるか検討したい」と市長より前向きな答弁がありました。

●飼い主が、病院や施設に入所したり、転居したり、死亡するなどの場合に、飼い猫が野良猫になるケースを少しでも減らすために、福祉分野との連携が必要であることを訴えました。具体的には、訪問看護師・ヘルパー・ケアマネージャー等がペットの存在を把握し、利用者やご家族と事前に対応を話し合っておくことを検討できないかと質問しましたが、答弁は「ペットの世話や手続きは介護保険サービス対象外」との理由で前向きとは言えず残念でした。市民の生活の質の向上のために、介護保険の事業所向けの研修等の中で対応の仕方を情報共有するなど、再検討を要望しました。



市内のお宅でくすぐりと育つ保護猫の 4 きょうだい

# 武蔵野クリーンセンター火災と今後の対応について

昨年の11月から今年6月にかけて、ゴミ処理施設・武蔵野クリーンセンターにおいて5件の発煙・火災事故が起きました。ご近隣の皆さまには、多大なるご心配・ご迷惑をおかけしたことを、申し訳なく思っています。

火災事故の原因のうち少なくとも2件は、リチウムイオン電池によるものと分かりました。

## 電池を内蔵している小型家電は 不燃ごみと別の回収ボックスの設置を! メーカーは電池取り外し可能なものへ変更を!

こうした事故の多発に際して、何が必要でしょうか。

近年、スマホ・タブレット・シェーバーなどコードレスの家電やゲーム機・おもちゃが急増していますが、その多くにリチウムイオン電池が使用されるようになりました。しかし、リチウムイオン電池は、破碎等によって容易に発熱・発火するという特性を持っていますので、不燃ごみに交じっていれば、火災の原因となり得ます。

武蔵野市は、現在、小型家電を原則不燃ごみでの回収としていますが、リチウムイオン電池が内蔵されている家電製品は有害ごみに入れる必要があると認識している市民ばかりではありません。

火災事故が多発していることに関しては、メーカーの責任が第一ではないでしょうか。メーカーがリチウムイオン電池を使用しているという表示や電池を取り外しできる設計にすることを徹底するよう、市として要請すべきと6月議会で求めました。

さらに、6月議会では「リチウムイオン電池の特性啓発と資源化推進を求める



2017年4月から稼働している  
新クリーンセンター。

意見書」が全会一致で採択されました。

市としては、小型家電については、コミュニティーセンターや大型商業施設などに専用の回収ボックスを置いて、事故を無くし、資源化促進にも貢献していただきたいと思います。

## 「市長に猛省を求める議会決議」は何のため?

一方、6月議会では「クリーンセンター発煙・火災事故対策における松下玲子市長の姿勢に対して猛省を求めるとともに徹底的な原因究明と再発防止策を求める決議」が提案され、賛成13、反対12という僅差で可決となりました。賛成したのは、自由民主市民クラブ7名・公明党3名・むさしの志民会議3名。私は反対しました。

この決議は、自由民主市民クラブの議員の一般質問に対する市長の答弁が責任感に欠ける発言だったとして、当該議員により提案されたものですが、そもそも、一般質問に対する答弁が自身の見解と異なっていた場合、再質問の中で議論を尽くすべきであると考えます。

また、原因究明と再発防止に関しては、市長答弁の一部を取り出して、猛省を求める決議を出すことが、市役所一丸となつた事故の根絶につながるのか、おおいに疑問です。

# 3月議会で、国民健康保険税の値上げに反対しました ～収入に応じた保険料の設定・全国一律の医療保険制度への改革を～

●国民健康保険税の納税通知書が7月上旬各世帯へ発送されました。受け取られて、値上げに驚かれた方も多いことでしょう。今回の値上げは、国民健康保険の財政運営主体の都道府県化に伴なうものです。

●国民健康保険制度が各自治体で財源不足となった最大の原因是国庫国負担金の減額であると考えています。1980年代は国庫負担金の収入に占める割合が約50%でしたが、今では約20%程度にまで削減。各自治体は税金（一般会計）から国保会計に繰り入れをして保険料の過大な値上げを抑制してきましたが、広域化に伴い、東京都は繰入金を計画的に解消することを自治体に求めました。武蔵野市は一般会計からの繰り入れ解消期間を14年としました。この改定を続け

ていけば14年間で大幅な値上げとなってしまいます。

●3月議会で、私は値上げ条例に反対し、多子減免制度（子どもが2人以上いる世帯に、一定の減額を行う制度）導入を求めました。

また、同じ収入でも入っている医療保険によって保険料が異なる不公平は解消すべきであり、全国一律の医療保険制度へ改革が必要です。そこで「政府が医療保険制度という国民の健康と生命にかかわる重要な制度の構造的問題を悪化させ改革を先送りしてきたことに対し、武蔵野市は国民皆保険制度の維持と公平簡素な制度設計のために、声を上げていただきたい」と強く要望しました。



# 4～8月の活動フォト



帰還困難区域の柵の前で



耕作できなくなった農地

4月29日市民団体のスタディーツアーで福島県へ。

富岡町出身の方のガイドで回りました。避難指示は次つぎ解除されていますが、富岡町の中には帰還困難区域もあります。かつては豊かな恵みのあった田畠が一面の原っぱになっている光景には、胸がいたみました。これからも福島を忘れず、サポートを続けます。



辺野古新基地建設 NO! 翁長知事の遺志を受け継ごう!と訴える集会



沖縄の写真展参加  
を、三鷹駅北口で  
呼びかけました。

8月8日、翁長沖縄県知事が亡くなりました。7月27日に、辺野古新基地建設のための埋め立て承認の撤回を表明したばかりでした。命を削って、県民の声にこたえてきた政治家の急逝に心からお悔やみ申し上げます。

その1か月前の7月6日・7日と武蔵野三鷹の市民が中心となって、復帰前からの沖縄の姿と人々の思いを伝えるため、山城博明写真展を武蔵野市内で開催しました。

7万人が集まった沖縄県民大会のあった8月11日、全国各地でも集会が開かれ、私も池袋で開かれた集会に参加しました。過酷な戦争被害を受け、今も基地の重圧に苦しむ沖縄に心を寄せてていきましょう。

## お便り紹介



活動報告 2018年1月号を  
読んだ方からおたよりが届  
きました。

長年他の自治体の児童館  
職員として働いてきた方で  
す。一部を紹介します。

山本ひとみ市議の「子どもには、保育園も児童  
館も必要です。」といふことに心があたたかくなり  
ました。思い切ってベンをとります。  
児童館の役割が、今こそ必要と思っています。児  
童館は、すべての子どもたちが行きたいときに利用で  
きます。広く浅くではなく、必要な子どもにその子  
の好きなことで、必要な時に寄り添えます。  
また、自分で選んで児童館に来るのは、中学・高

校生になってからが多いです。  
異年齢で遊ぶとの良々が日々感じ取れます。子  
どもは、少し年上のお兄さん・お姉さんにあこがれ  
ります。

身体の不自由な方・心の病の方・子どもに悩む方  
などの方でも、児童館の中で子どもたちのために活  
躍できるのです。それで、児童館の内容が幅広くな  
ります。

**市政相談**  
いつでもお気軽に



ツイッター・FBで  
情報発信&受信中

